【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【公開番号】特開2013-245554(P2013-245554A)
【公開日】平成25年12月9日(2013.12.9)
【年通号数】公開・登録公報2013-066
【出願番号】特願2012-117263(P2012-117263)
【国際特許分類】
Ｆ０１Ｎ　3/28　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０１Ｎ　3/28　３１１Ｎ
Ｆ０１Ｎ　3/28　３１１Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成27年3月12日(2015.3.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
汚染制御装置の内側に汚染制御要素を取り付けるための取付システムであって、
第１のシート層と、
前記汚染制御要素の取付時に前記第１のシート層よりも内側に位置する第２のシート層と
を備え、
取付時に前記汚染制御要素に接する前記第２のシート層の面に溝パターンが形成されており、
前記第１のシート層のアスカーＦ型硬度が前記第２のシート層のアスカーＦ型硬度のｎ倍であり、ここで、ｎは１より大きく３以下である、
取付システム。
【請求項２】
前記第１のシート層のアスカーＦ型硬度が５０～９０であり、
前記第２のシート層のアスカーＦ型硬度が３０～８０である、
請求項１に記載の取付システム。
【請求項３】
前記第１のシート層の密度が前記第２のシート層の密度のｎ倍であり、ここで、ｎは１より大きく３以下である、
請求項１又は２に記載の取付システム。
【請求項４】
前記第１のシート層の密度が０．１２～０．３０ｇ／ｃｍ^{3}であり、
前記第２のシート層の密度が０．１０～０．２５ｇ／ｃｍ^{3}である、
請求項３に記載の取付システム。
【請求項５】
前記第２のシート層の厚みが前記第１のシート層の厚み以下である、
請求項１～４のいずれか一項に記載の取付システム。
【請求項６】
前記第１のシート層の厚みと前記第２のシート層の厚みとの比が３０：１～１：１であ

る、
請求項５に記載の取付システム。
【請求項７】
前記第１のシート層の厚みが３～１５ｍｍであり、
前記第２のシート層の厚みが０．５～１５ｍｍである、
請求項６に記載の取付システム。
【請求項８】
前記第１のシート層が乾式法により製造され、
前記第２のシート層が湿式法により製造される、
請求項１～７のいずれか一項に記載の取付システム。
【請求項９】
前記溝パターンが、前記第２のシート層の巻き方向と略直交する方向に延びる複数の溝を含む、
請求項１～８のいずれか一項に記載の取付システム。
【請求項１０】
隣り合う二つの前記溝の間隔が３～５０ｍｍである、
請求項９に記載の取付システム。
【請求項１１】
汚染制御装置の内側に汚染制御要素を取り付けるための取付システムであって、
第１のシート層と、
前記汚染制御要素の取付時に前記第１のシート層よりも内側に位置する第２のシート層と
を備え、
取付時に前記汚染制御要素に接する前記第２のシート層の面に溝パターンが形成されており、
前記第１のシート層の密度が前記第２のシート層の密度のｎ倍であり、ここで、ｎは１より大きく３以下である、
取付システム。
【請求項１２】
ケーシングと、
前記ケーシング内に配置される汚染制御要素と、
請求項１～１１のいずれか一項に記載の取付システムと
を備え、
前記取付システムが、前記ケーシング内の所望の位置に前記汚染制御要素を保持するように該ケーシングと該汚染制御要素との間に配置される、
汚染制御装置。